

明石市立市民病院のあり方検討有識者会議の設置及び開催について

1 会議設置の趣旨

地域住民が安心して暮らし続けることができる医療環境の構築に向け、将来的な医療需要や医療提供体制、明石市立市民病院が抱える課題等を踏まえ、将来めざすべき市民病院のあり方を検討するため、専門的見地より多角的な意見を求める。

2 主な検討内容

- (1) 地域における明石市立市民病院の役割と位置づけ(必要性など)
- (2) 市民病院のあり方(診療機能・規模など)
- (3) 再整備の方向性
- (4) その他、市民病院のあり方に関し必要な事項

3 スケジュール（予定）

設置時期：令和6年12月～令和7年3月（検討が終了するまで）

開催回数：3回程度

検討内容
・ 地域医療の現状と課題及び市民病院の現状の共有 ・ 市民病院に求められる医療について
・ 市民病院が地域で果たす役割、診療機能、再整備の方向性等について
・ 報告書のとりまとめについて

4 構成委員

別紙のとおり

有識者会議 構成委員

区分	組織・役職等	氏名
有識者	東京都立大学 客員教授	谷田 一久
有識者	富山大学附属病院 地域医療総合支援学講座 客員准教授	小林 大介
関連大学	京都府立医科大学 副学長 循環器内科 教授	的場 聖明
関連大学	神戸大学医学部附属病院 病院長	眞庭 謙昌
地元医療関係者	兵庫県立がんセンター 院長	富永 正寛
地元医療関係者	明石市医師会 会長	鈴木 光太郎
地元医療関係者	明石市医師会 副会長	石井 洋光
地元医療関係者	兵庫県看護協会 東播地区理事	花岡 澄代
医療行政	兵庫県保健医療部 次長	田所 昌也
明石市	明石市 副市長	佐野 洋子